

平成18年度決算に関する書類

1 事業報告

科学的で効果的な健康づくりの方法の研究等を通して、市民の自主的な健康づくりを支援することにより、その健康的な生活習慣の確立を図り、もって市民の福祉の向上に資することを目的として、次の事業を行った。

(1) 指定管理者としての事業

福岡市健康づくりセンターの指定管理者として、次の事業を行った。

ア 調査・研究事業

(イ) 健康度診断

市民の多様なライフスタイルに応じた健康処方とメニューの開発を目指し、個人を対象として健康度を診断し、健康づくりのための運動処方などを提案し、指導した。

a 健康度診断1日コース	44回
b 体力測定コース	4回

(ロ) 健康づくりに関する調査及び研究

大学、医療機関等の関係機関と協力して、健康づくりに関する調査及び研究を行うとともに、専門委員会等を開催した。

a 大学との共同研究

肥満・動脈硬化予防に関する研究

b 「健康日本21福岡市計画」の中間評価、見直し

c 調査研究に関する専門委員会等

「福岡市健康づくり研究委員会」の開催	1回
「研究計画策定専門部会」の開催	1回

(ハ) 健康づくりに関する相談

面接、電話等による健康づくり全般に関する相談業務を随時行った。

(ニ) 健康づくり運動促進事業

身近な場所での運動習慣の定着を図るため、各区保健福祉センター（保健所）のヘルスアップスクール及び節目健診並びに健康づくりセンターの健康度診断の受診者を対象として、運動処方の提供等を行った。

(ホ) 禁煙サポート

普及・啓発事業における禁煙教室の事業を踏まえ、禁煙に係る調査及び研究を行った。

イ 教育・研修事業

健康づくり指導者の知識及び技能の向上並びに関係各施設における指導の統一性を図るため、

体系化した研修を行った。

- ・ 各区保健福祉センター（保健所）職員等研修 7回

ウ 普及・啓発事業

(ア) 普及・啓発

「健康日本 21 福岡市計画」の普及・啓発を図った。

また、市民の健康づくりを啓発するため、パンフレットを作成し、健康づくりの普及のためのイベントを開催した。

- a 「健康づくりセンターNEWS」の作成 6回
- b 「健康づくりセンターNEWS特集号」の作成 1回
- c その他普及・啓発用パンフレット等の作成
- d ホームページによる情報提供

(イ) 「たばこ」対策の推進

禁煙・分煙・防煙対策など「たばこ」対策を総合的に推進した。

- a 禁煙パネル展
- b 禁煙キャンペーン

(ウ) 講座・教室の開設

健康づくりの普及や市民が健康についての正しい知識を身につけることを目的として、栄養や運動、歯科など多面的に健康づくりに関する講座、教室を開催した。

- a 糖尿病教室 3講座（1講座1回）、3講座（1講座6回）
- b 糖尿病教室（フォローコース） 2回
- c 歯周病予防教室 44回
- d 働くママとパパのマタニティスクール 10講座（1講座2回）
- e 禁煙教室 10回
- f 転倒予防教室 42講座（1講座5回）

(エ) 展示施設の運営

よりよい生活習慣を身につけることを目的として、子どもから大人まで市民が楽しく遊びながら学べる体験型の展示施設「ウェルネス・ストリート」の運営を通して、健康教育事業を行った。

また、少年科学文化会館と連携し、「一日学習」の一環として小学3年生を対象に健康教育を行った。

(オ) 図書資料室の運営

健康づくりに関する資料・図書等の情報を収集し、情報の提供を行った。

エ 健康づくりセンターの維持管理

健康づくりセンター等複合施設の維持管理を行った。（健康づくりセンター以外の施設については、福岡市からの委託業務として実施した。）

- (ア) 建物の警備、清掃等
- (イ) 附属設備の保守管理及び運転
- (ウ) 受付案内
- (エ) ホール・講堂等管理業務

(2) 自主事業

自主事業として、次の事業を行った。

ア 調査・研究事業

- (ア) 健康運動教室 12 講座 (1 講座 6 回)
- (イ) 健康づくりに関する調査及び研究
 - a 生活習慣改善プログラムの開発
 - b 食育プログラムの開発
 - c 健康度診断受診者の縦断研究

イ 教育・研修事業

- (ア) 日本医師会認定産業医研修 4 回
- (イ) 老人クラブリーダー研修 2 回
- (ウ) その他各市民リーダー研修 (民間スポーツクラブの指導員等) 2 回

ウ 普及・啓発事業

(ア) 普及・啓発

マスメディアを通して健康づくりの普及を図った。

(イ) 健診等事業

- a 運動処方外来 30 回
- b 体脂肪・骨塩量測定外来 33 回
- c 禁煙外来 44 回

(ウ) 教室・講座の開催

- a ウォーキング実践教室 (大濠公園及び東公園) 21 回
- b 虫歯予防教室 (はじめてのフッ素塗布) 46 回
- c 健康的にやせる教室 4 講座 (1 講座 9 回)
- d 企業向け健康教室 3 回
- e 親と子の食育講座 2 回
- f 糖尿病患者の料理教室 2 回
- g フォローアップ教室 24 回
- h 運動指導教室 (にこにこルーム) 133 回 (週 3 回)

- (エ) 骨と関節の日講演会 1 回

- | | |
|-------------------------------------|----|
| (イ) ふくおか市民糖尿病教室 | 1回 |
| (カ) 糖尿病パネル展 | 1回 |
| (キ) あいれふフォーラム「薬と健康」 | 1回 |
| (ク) 薬と健康パネル展 | 1回 |
| (ケ) ウォーキング大会「第9回シティウォーク in ふくおか」の開催 | 1回 |
| (コ) 「あいれふ de はっぴ〜マタニティ」の開催 | 1回 |

(3) 理 事 会

第1回理事会 平成18年5月26日

第2回理事会 平成19年3月30日

2 収支計算書（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	最終予算額	決 算 額	差 異	備 考
I 収入の部				
1 基本財産運用収入	1,986,000	1,986,377	△ 377	
2 事業収入	446,638,878	427,617,802	19,021,076	福岡市受託収入等
3 補助金収入	0	300,000	△ 300,000	民間助成金収入
4 負担金収入	160,000	160,000	0	産業医研修負担金収入
5 雑収入	170,000	233,751	△ 63,751	教材販売収入等
当期収入合計(A)	448,954,878	430,297,930	18,656,948	
前期繰越収支差額	800,000	13,475,992	△12,675,992	
収入合計(B)	449,754,878	443,773,922	5,980,956	
II 支出の部				
1 事業費	284,425,878	272,960,848	11,465,030	調査・研究, 教育・研修, 普及・啓発, 施設管理等
2 管理費	164,217,000	157,103,082	7,113,918	職員給与費等
3 特定預金支出	312,000	234,000	78,000	退職給与引当預金支出
4 予備費	800,000	0	800,000	
当期支出合計(C)	449,754,878	430,297,930	19,456,948	
当期収支差額 (A) - (C)	△ 800,000	0	△ 800,000	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	0	13,475,992	△13,475,992	

3 正味財産増減計算書 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金 額	
I 増加原因の部		
1 基本財産運用収入	1,986,377	
2 事業収入	427,617,802	
3 補助金収入	300,000	
4 負担金収入	160,000	
5 雑収入	233,751	430,297,930
合 計		430,297,930
II 減少原因の部		
1 事業費	272,960,848	
2 管理費	157,103,082	
3 引当金繰入額	234,000	430,297,930
合 計		430,297,930
当期正味財産増加額		0
前期繰越正味財産額		293,485,342
期末正味財産合計額		293,485,342

4 貸借対照表 (平成19年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	84,034,821		
未収金	773,210		
流動資産合計		84,808,031	
2 固定資産			
基本財産			
基本財産投資有価証券	239,850,000		
基本財産引当預金	31,318,000		
基本財産合計	271,168,000		
その他の固定資産			
什器備品	1,995,000		
什器備品減価償却累計額	△ 1,895,250		
電話加入権	741,600		
退職給与引当預金	234,000		
調査研究事業引当預金	8,000,000		
その他の固定資産合計	9,075,350		
固定資産合計		280,243,350	
資産合計			365,051,381
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	69,441,463		
預り金	1,890,576		
流動負債合計		71,332,039	
2 固定負債			
退職給与引当金	234,000		
固定負債合計		234,000	
負債合計			71,566,039
III 正味財産の部			
正味財産			293,485,342
(うち基本財産)			(271,168,000)
(うち当期正味財産増加額)			(0)
負債及び正味財産合計			365,051,381

5 財産目録 (平成19年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金 現金手許有高	130,500	
普通預金 福岡銀行赤坂門支店	22,048,907	
西日本シティ銀行赤坂門支店	61,855,414	
未収金	773,210	
流動資産合計		84,808,031
2 固定資産		
(1) 基本財産		
基本財産投資有価証券	239,850,000	
基本財産引当預金		
定期預金 福岡銀行赤坂門支店	10,000,000	
西日本シティ銀行赤坂門支店	10,000,000	
福岡中央銀行本店	10,000,000	
福岡大名二郵便局	1,318,000	
基本財産合計	271,168,000	
(2) その他の固定資産		
什器備品	1,995,000	
什器備品減価償却累計額	△ 1,895,250	
電話加入権	741,600	
退職給与引当預金	234,000	
調査研究事業引当預金	8,000,000	
その他の固定資産合計	9,075,350	
固定資産合計		280,243,350
資産合計		365,051,381
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	69,441,463	
預り金	1,890,576	
流動負債合計		71,332,039
2 固定負債		
退職給与引当金	234,000	234,000
負債合計		71,566,039
正味財産		293,485,342

6 計算書類に対する注記

(1) 重要な会計方針

ア 会計基準について

当年度は、平成16年10月改正前の公益法人会計基準（昭和60年9月17日 公益法人指導監督連絡会議決定）を採用している。

イ 固定資産の減価償却について

固定資産の減価償却方法は、定率法で行っている。

ウ 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金、未払金及び預り金を含めることとしている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記(3)に記載するとおりである。

(2) 基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産投資有価証券	239,850,000	0	0	239,850,000
基本財産引当預金	31,318,000	0	0	31,318,000
合計（基本財産）	271,168,000	0	0	271,168,000

(3) 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 預 金	87,479,304	84,034,821
未 収 金	528,362	773,210
合 計	88,007,666	84,808,031
未 払 金	73,391,122	69,441,463
預 り 金	1,140,552	1,890,576
合 計	74,531,674	71,332,039
次期繰越収支差額	13,475,992	13,475,992

(4) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当 期 末 残 高
什 器 備 品	1,995,000	1,895,250	99,750
合 計	1,995,000	1,895,250	99,750

(5) 資産及び負債の重要な科目別増加額及び減少額

(単位：円)

科 目	金 額	
1 増 加 の 部		
資 産 増 加 額		
当 期 収 支 差 額	0	
退 職 給 与 引 当 預 金 増 加 額	234,000	
増 加 額 合 計		234,000
2 減 少 の 部		
負 債 増 加 額		
退 職 給 与 引 当 金 繰 入 額	234,000	
減 少 額 合 計		234,000
当 期 正 味 財 産 増 加 額		0

7 契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約

該当なし

8 契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約

該当なし